

| | |
|------|---------------------------------------|
| 自治体名 | 北方町教育委員会 担当課：教育課 電話番号：058-323-1115 |
|------|---------------------------------------|

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

| | | | | | |
|--------|----|-------|------|--------|------|
| ① 中学校数 | 1校 | ② 生徒数 | 505人 | ③ 部活動数 | 17部活 |
|--------|----|-------|------|--------|------|

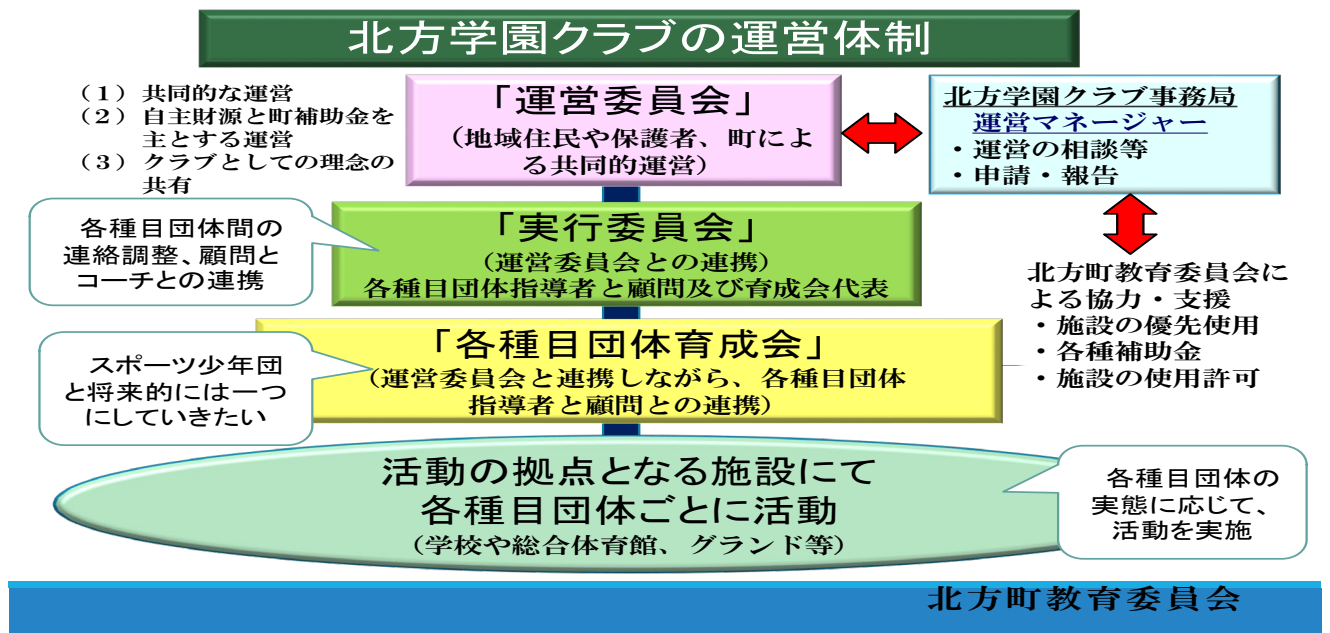
1.2 地域における現状・課題

- ・ 北方町では、令和5年度より学校の再編のため、小学校3校と中学校1校から、義務教育学校2校となる。中学校が2つに分離するということで、今まで一緒に活動していた仲間と、一緒に活動できなくなるということが一番大きな課題であった。そのため、一昨年より「部活動部会」で計5回検討し、その後、「北方学園クラブ準備委員会」を立ち上げ、計7回にも渡り、今後の在り方を検討してきた。検討をするに当たって、文部科学省から出された「休日の部活動における地域移行のスケジュール」をもとにして、今まで休日に実施してきた部活動を地域移行していくために、北方町独自に「北方学園クラブ」を立ち上げ、今まで一緒に活動していた部活動の仲間と別れることなく、休日とともに活動することができると考えた。
- ・ もう一つの課題が、町内におけるスポーツ少年団の登録選手数の減少である。町内の児童生徒の数に、それほど減少は見られないものの、スポーツ少年団の選手数は年々少なくなってきた。これらの課題を克服するために、今回立ち上げる「北方学園クラブ」にスポーツ少年団も取り組んでいこうと考えた。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 現在ある「スポーツ少年団」や「部活動」、「ジュニアクラブ」が一つの団体（組織）としてまとまることによって、所属する児童生徒を一貫した指導理念の下、長いスパンにて育成していくことができる。
- ・ 「北方学園クラブ」設立1年前より、野球とソフトボールの2団体を、「北方学園準備クラブ」として位置づけ、先行的な取り組みを実施することで、休日に社会人コーチだけで活動したり、小学生にチラシを配って練習会に誘い、部員数の確保をしたりする。

1.5 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 北方町としては一昨年より「部活動部会」で計5回検討し、その後、「北方学園クラブ準備委員会」を立ち上げ、計7回にも渡り、今後の在り方を検討して、上記のような組織を構築した。その組織のキーパーソンとなるのが、クラブマネージャーである。このクラブマネージャーが、学園クラブの活動を支援していくこととした。
- ・ 北方学園クラブの規約も整備し、4月から運用できるようにした。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

| | |
|------------------|-------------------|
| ① 実践研究校数 | 北方町立北方中学校 |
| ② 実践研究に取り組んだ部活動数 | 2部活 |
| ③ 種目 | ソフトボール部と野球部にて先行実施 |

《主な取組例（1）》…北方町立北方中学校

| | | | |
|-------------------|--|---------------|--------------------|
| ① 種目 | ソフトボール | ④ 参加者数 | 12人 |
| ② 活動日 | 土・日 | ⑤ 活動場所 | 北方小学校グラウンド |
| ③ 指導者人数 | 2人 | ⑧ 謝金単価(1人あたり) | 社会人指導者 : 3,000円/1回 |
| ④ 指導者属性 | ソフトボール部社会人指導者 | | |
| ⑤ 参加会費の有無・金額 | 徴収あり (1人あたり: 12,000円/年額) | | |
| ⑥ 移動手段 | 原則自転車及び徒歩 | | |
| ⑦ 合同チームとしての大会参加状況 | 現在は、人数が足りているため単独チームとして参加 当初は12名いた部員が、3年生卒業後部員が数名やめてしまったため、現在部員数が2名となった。今後、合同部活動を検討中 | | |

《主な取組例（2）》…北方町立北方中学校

| | | | |
|-------------------|---------------------------|---------------|-------------------|
| ① 種目 | 野球 | ④ 参加者数 | 24人 |
| ② 活動日 | 土・日 | ⑤ 活動場所 | 町立宮東グラウンド |
| ③ 指導者人数 | 1人 | ⑧ 謝金単価(1人あたり) | 部活動指導員: 1,596円/時間 |
| ④ 指導者属性 | 野球部部活動指導員 | | |
| ⑤ 参加会費の有無・金額 | 徴収あり (1人あたり: 20,000円/年額) | | |
| ⑥ 移動手段 | 原則自転車及び徒歩 | | |
| ⑦ 合同チームとしての大会参加状況 | 合現在は、人数が足りているため単独チームとして参加 | | |

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者、地域住民等）

- ソフトボール部の部員からは、「先輩方が引退した後に、何人かが辞めてしまったため、これからの活動が不安であった。しかし、クラブマネージャーの方が、私たちが作ったチラシを学校へ配ってくださったおかげで、練習会参加者が8名も来てくれてうれしかった。」という感想をいただいた。
- 野球部の保護者の方からは、「部活動アプリ」を使って、保護者同士や選手同士の連絡が取りやすくなった。」という感想をいただいた（アンケート結果は右図参照）。

北方学園クラブ「部活アプリ」のチーム連絡機能に関するアンケート結果
(回答者名)



3.3 各実践校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- 運動部活動の社会人コーチは従来から位置付いていたため、来年度以降もその方たちをお願いすることができたが、5つある文科系の部活動のうち家庭科部だけが、社会人指導者を見つけることができなかった。
- 両学園に別れた後の具体的な活動に対する、保護者や選手に不安感があったが、一つ一つ話を聞きながら解決していった。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ソフトボール部にて実施した2回の体験会において、小学6年生の参加者が多く参加していただいたことで、来年度、部の存続につなげることができた。
- 運営体制については、実際に活動していくために有効な体制を構築することができた。

4.2 地域連携・地域移行における今後の課題

- いよいよ来年度より「北方学園クラブ」としての活動を本格的にスタートすることになるが、実際に運用する際に出てきた問題点に対して、クラブマネージャーが中心となって学校や教育委員会と相談しながら、解決していくことが重要である。